学校番号	414

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ（数Ⅱ β）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	新課程　クリアー数学Ⅱ＋B＋C　（数研出版）、 新課程　チャート式　解法と演習Ⅱ＋B＋C（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学Ⅰ・Ａの内容を理解している前提で授業が進みます。よく復習しておいてください。
・授業中に扱う課題は、まずは１人でよく考えて取り組みましょう。
また、自分の考えたことを他人に説明することで理解が定着します。
・公式を覚えるだけでなく、「公式の意味」や、「なぜこの公式が成り立つのか」を考えましょう。
・ノートは答えだけを書くのではなく、途中式や考え方のポイント等を必ず書くようにしましょう。解いた後は必ず答え合わせをし、自分がつまずいたところの確認を行うようにしましょう。
・数学Ⅰ・Ａよりも難易度が高いです。授業でわからないことがあれば、その日に先生に質問するよう心がけてください。わからないところを放置しないこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・「複素数」、「三角関数」、「対数関数」の３分野の基礎的な知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・公式や解き方を覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」をよく考える姿勢を身に付ける。
・根拠を立てて考え、論理的な思考力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
・数学Ⅱの内容が実社会のどのような場面で活用されているのかを理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・複素数と方程式、指数関数・対数関数、三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・複素数と方程式、指数関数・対数関数、三角関数などについて論理的に考察する力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	方程式・式と証明	1. 複素数と2次方程式の解 2. 高次方程式	a: 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 b: 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 c: 事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度
	三角関数	1. 角の拡張 2. 三角関数のグラフ 3. 三角関数の性質	a: ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 b: ・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 c: 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度

2学期	三角関数	1. 三角関数の応用 2. 加法定理 3. 加法定理の応用	a: 三角関数の加法定理や二倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 b: 三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 c: 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度
	指数関数	1. 指数の拡張 2. 指数関数	a: 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 b: 指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 c: 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度
3学期	対数関数	1. 対数とその性質 2. 対数関数 3. 常用対数	a: ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b: 対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 c: 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度